

本資料のうち、枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料	
資料番号	KK7 添-1-016-3 改1
提出年月日	2020年6月18日

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備のうち
非常用発電装置
(緊急時対策所代替電源設備)

(添付書類)

2020年6月

東京電力ホールディングス株式会社

V-1 説明書

V-1-1 各発電用原子炉施設に共通の説明書

V-1-1-5 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書

V-1-1-5-8 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書(その他発電用原子炉の附属施設)

V-1-1-5-8-1 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書(その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備))

V-5 図面

1. 発電所

1.4 単線結線図

- ・第 1-4-8 図 5号機原子炉建屋内緊急時対策所単線結線図

9. その他発電用原子炉の附属施設

9.1 非常用電源設備

9.1.1 非常用発電装置

9.1.1.3 緊急時対策所代替電源設備

- ・第 9-1-1-3-1-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置(緊急時対策所代替電源設備)に係る機器の配置を明示した図面(その1)
- ・第 9-1-1-3-1-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置(緊急時対策所代替電源設備)に係る機器の配置を明示した図面(その2)
- ・第 9-1-1-3-1-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置(緊急時対策所代替電源設備)に係る機器の配置を明示した図面(その3)
- ・第 9-1-1-3-1-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置(緊急時対策所代替電源設備)に係る機器の配置を明示した図面(その4)
- ・第 9-1-1-3-2-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置(緊急時対策所代替電源設備)の系統図(その1)(軽油タンク)(重大事故等対処設備)
- ・第 9-1-1-3-2-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置(緊急時対策所代替電源設備)の系統図(その2)(軽油タンク)(重大事故等対処設備)
- ・第 9-1-1-3-2-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置(緊急時対策所代替電源設備)の系統図(その3)(緊急安全対策資機材系)(重大事故等対処設備)
- ・第 9-1-1-3-3-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置(緊急時対策所代替電源設備)の構造図 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備(その1)
- ・第 9-1-1-3-3-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置(緊急時対策所代替電源設備)の構造図 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用燃料タンク

- 第9-1-1-3-3-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（緊急時対策所代替電源設備）の構造図 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備（その2）
- 第9-1-1-3-3-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（緊急時対策所代替電源設備）の構造図 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用保護継電装置

2.3 緊急時対策所代替電源設備

2.3.1 内燃機関

2.3.1.1 内燃機関

名 称		5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関 (6,7号機共用)
機 関 個 数	—	1
過 給 機 個 数	—	1
<p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>重大事故等時にその他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備として使用する5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関は、以下の機能を有する。</p> <p>5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関は、重大事故等が発生した場合において5号機原子炉建屋内緊急時対策所の機能及び居住性の維持に必要な電力を確保する5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備の発電機を駆動するために設置する。</p> <p>5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関は、全交流動力電源が喪失した場合に、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用受電盤に接続することで必要な設備に電力を供給する5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備を駆動できる設計とする。</p> <p>1. 機関个数</p> <p>5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関は、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備付の内燃機関であるため、重大事故等対処設備として5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備を駆動するために必要な个数である5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備1個当たり1個設置する。</p> <p>2. 過給機个数</p> <p>5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関の過給機は、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関付の過給機であるため、重大事故等対処設備として5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備を駆動するために必要な个数である5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関1個当たり1個設置する。</p>		

2.3.1.2 内燃機関に附属する冷却水設備

名 称		5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用機関付 冷却水ポンプ (6,7号機共用)	
容 量	m ³ /h	□以上 (□)	
個 数	—	1	
<p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>重大事故等時にその他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備として使用する5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用機関付冷却水ポンプは、以下の機能を有する。</p> <p>5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用機関付冷却水ポンプは、重大事故等が発生した場合において5号機原子炉建屋内緊急時対策所の機能及び居住性の維持に必要な電力を確保する5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関を冷却するために設置する。</p> <p>5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用機関付冷却水ポンプは、全交流動力電源が喪失した場合に、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用受電盤に接続することで必要な設備に電力を供給する5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関を冷却できる設計とする。</p> <p>1. 容量</p> <p>5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用機関付冷却水ポンプを重大事故等時に使用する場合の容量は、ディーゼル機関のメーカーによる開発段階で、□m³/hの冷却水容量であれば、ディーゼル機関高温部の冷却に関して、性能上問題ないことを確認している。</p> <p>以上より、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用機関付冷却水ポンプの容量は、□m³/h以上とする。</p> <p>公称値については、要求される容量と同じ□m³/hする。</p> <p>2. 個数</p> <p>5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用機関付冷却水ポンプは、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関付の冷却水ポンプであるため、重大事故等対処設備として5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備の機関を冷却するために必要な個数である5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関1個当たり1個設置する。</p>			

2.3.1.3 燃料デイトンク又はサービスタンク

名 称	5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用燃料タンク (6,7号機共用)	
容 量	L/個	368以上(495)
最高使用圧力	MPa	静水頭
最高使用温度	℃	40
個 数	—	2

【設 定 根 拠】

(概要)

重大事故等時にその他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備として使用する5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用燃料タンクは、以下の機能を有する。

5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用燃料タンクは、重大事故等が発生した場合において5号機原子炉建屋内緊急時対策所の機能及び居住性の維持に必要な電力を確保する5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備の燃料を貯蔵するために設置する。

5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用燃料タンクは、全交流動力電源が喪失した場合に、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用受電盤に接続することで必要な設備に電力を供給する5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関の燃料を貯蔵できる設計とする。

1. 容量

5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用燃料タンクを重大事故等時に使用する場合の容量は、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備の100%負荷連続運転時の燃料消費量を基に設定する。

タンクローリ(4kL)からの燃料補給時間は、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備の運転開始から約15時間後であることから、この間の5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備の燃料消費量は以下のとおり656Lである。

$$V_1 = C \cdot H = 43.7 \times 15 \doteq 656$$

ここで、

V_1 : タンクローリ(4kL)の燃料補給を考慮した燃料消費量(L)

H : 運転時間(h)

C : 燃料消費率(L/h)

また、燃料タンクの残油量が80Lを下回った場合、装置保護のため5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備は停止することから、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用燃料

タンクの容量は、656Lに5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備が停止する残油量の80Lを加えた736L以上とする。

$$V = V_1 + V_2 = 656 + 80 = 736$$

ここで、

V : 燃料タンクの残油量による5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備の停止を考慮した燃料消費量(L)

V_2 : 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備が停止する残油量(L)

公称値については要求される容量736Lを上回る990Lとする。

また、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬電源設備用燃料タンクは、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬電源設備1個当たり2個設置される構造となっているため、1個当たり必要とされる容量は368L/個以上、公称値は495L/個となる。

2. 最高使用圧力

5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用燃料タンクを重大事故等時に使用する場合の圧力は、大気開放タンクであることから、静水頭とする。

3. 最高使用温度

5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用燃料タンクを重大事故等時に使用する場合の温度は、屋外で使用する可搬型設備であることから、外気の温度*を上回る40℃とする。

注記 * : 外気の温度は、柏崎市の過去最高気温(37.6℃)を上回る、柏崎市の観測記録に基づく年超過確率 10^{-4} の気温である38.8℃とする。

4. 個数

5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用燃料タンクは、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備付の燃料タンクであるため、重大事故等対処設備として5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関の燃料を貯蔵するために必要な個数である5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備1個当たり2個設置する。

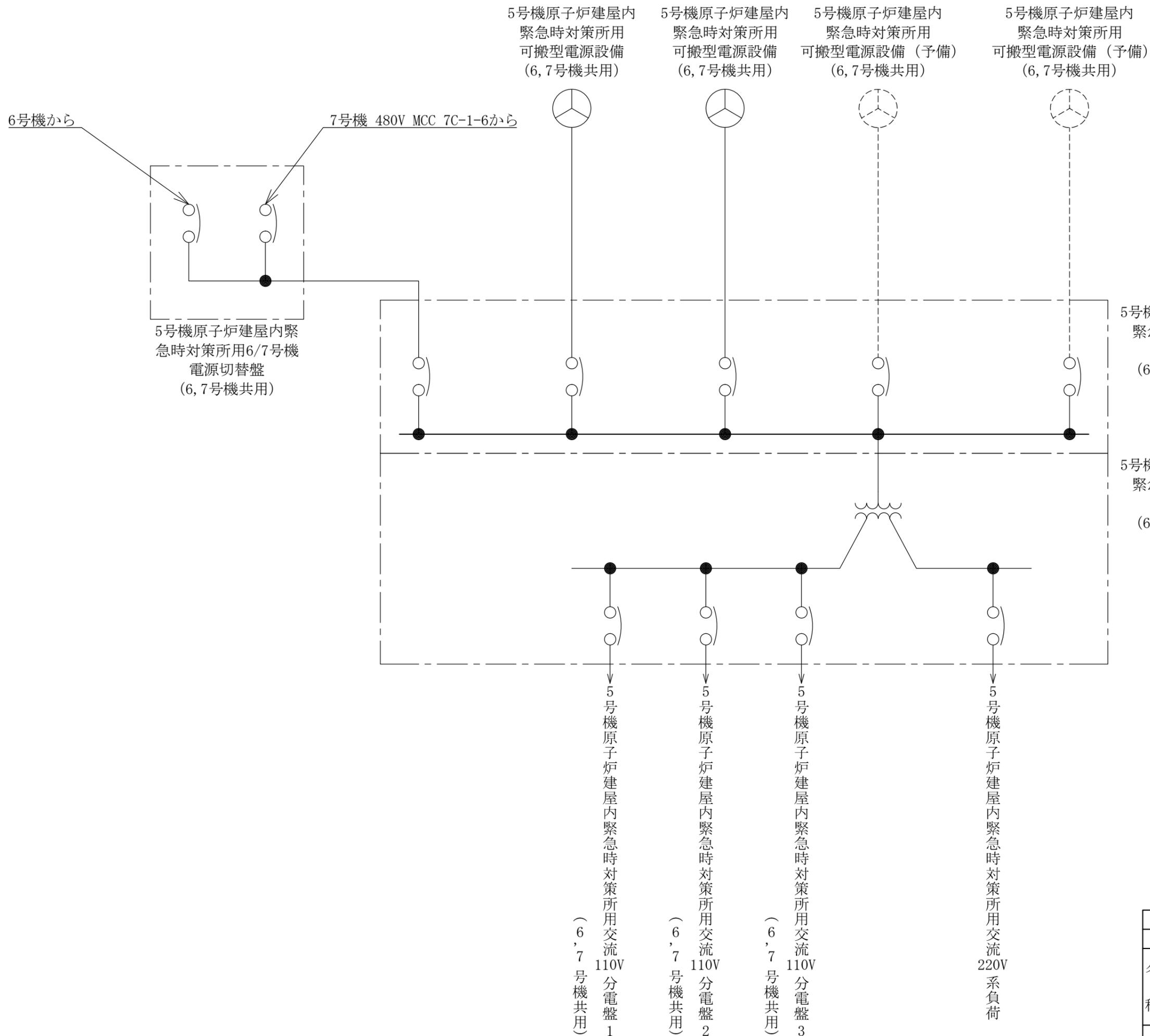
2.3.2 発電機

2.3.2.1 発電機

名 称		5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備 (6,7号機共用)	
容 量	kVA/個	200	
個 数	—	2 (予備 3)	
<p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>重大事故等時にその他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備として使用する5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備は、以下の機能を有する。</p> <p>5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備は、重大事故等が発生した場合において5号機原子炉建屋内緊急時対策所の機能及び居住性の維持に必要な電力を確保するために設置する。</p> <p>5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備は、全交流動力電源が喪失した場合に、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用受電盤に接続することで必要な設備に電力を給電できる設計とする。</p> <p>1. 容量</p> <p>5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備を重大事故等時に使用する場合の容量に関しては、V-1-9-1-1 「非常用発電装置の出力の決定に関する説明書」にて説明する。</p> <p>2. 個数</p> <p>5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備は、重大事故等対処設備として5号機原子炉建屋内緊急時対策所の機能及び居住性の維持に必要な電力を確保するため、1個で必要な容量を有するものを燃料補給時の切替を考慮して2個を1セットとして保管することに加え、保守点検による待機除外時のバックアップとして予備を3個保管する。</p>			

2.3.2.2 励磁装置

名 称		5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用励磁装置 (6,7号機共用)	
容 量	kW	6.8	
個 数	—	1	
<p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>重大事故等時にその他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備として使用する5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用励磁装置は、以下の機能を有する。</p> <p>5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用励磁装置は、重大事故等が発生した場合において5号機原子炉建屋内緊急時対策所の機能及び居住性の維持に必要な電力を確保する5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備を励磁するために設置する。</p> <p>5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用励磁装置は、全交流動力電源が喪失した場合に、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用受電盤に接続することで必要な設備に電力を供給する5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備を励磁できる設計とする。</p> <p>1. 容量</p> <p>5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用励磁装置を重大事故等時に使用する場合の容量は、発電機のメーカーによる開発段階で、6.8kWの容量であれば、発電機の励磁に関して、性能上問題ないことを確認している。</p> <p>以上より、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用励磁装置の容量は6.8kWとする。</p> <p>2. 個数</p> <p>5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用励磁装置は、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備付の励磁装置であるため、重大事故等対処設備として5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備を励磁するために必要な個数である5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備1個当たり1個設置する。</p>			



5号機原子炉建屋内
緊急時対策所用
受電盤
(6,7号機共用)

5号機原子炉建屋内
緊急時対策所用
主母線盤
(6,7号機共用)

(凡例)
MCC: モーターコントロールセンタ
○) : 配線用遮断器

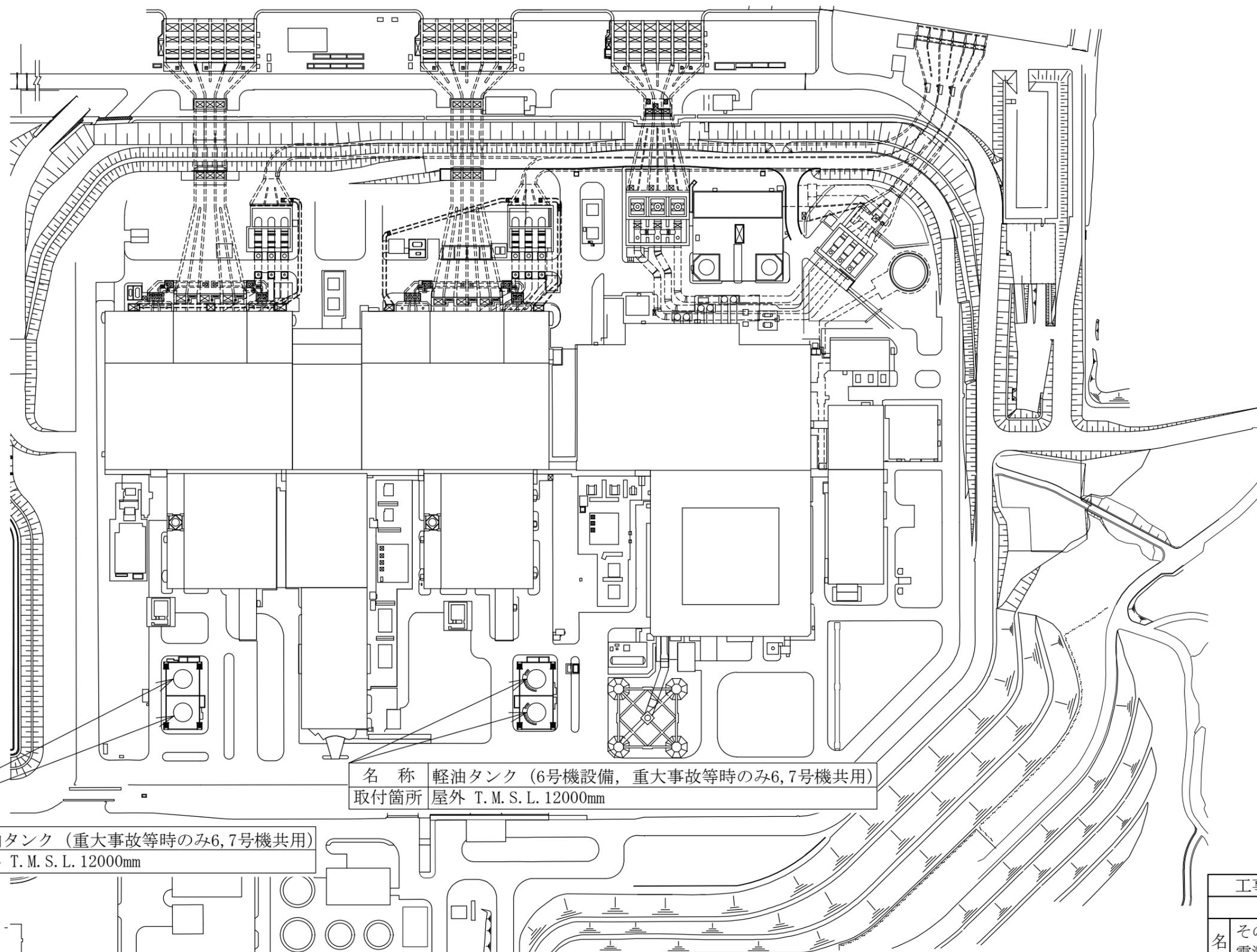
(6,7号機共用)
5号機原子炉建屋内緊急時対策所用交流110V分電盤1

(6,7号機共用)
5号機原子炉建屋内緊急時対策所用交流110V分電盤2

(6,7号機共用)
5号機原子炉建屋内緊急時対策所用交流110V分電盤3

5号機原子炉建屋内緊急時対策所用交流220V系負荷

工事計画認可申請		第1-4-8図
柏崎刈羽原子力発電所第7号機		
名称	5号機原子炉建屋内緊急時対策所 単線結線図	
東京電力ホールディングス株式会社		



名 称 軽油タンク (6号機設備, 重大事故等時のみ6,7号機共用)
取付箇所 屋外 T. M. S. L. 12000mm

名 称 軽油タンク (重大事故等時のみ6,7号機共用)
取付箇所 屋外 T. M. S. L. 12000mm

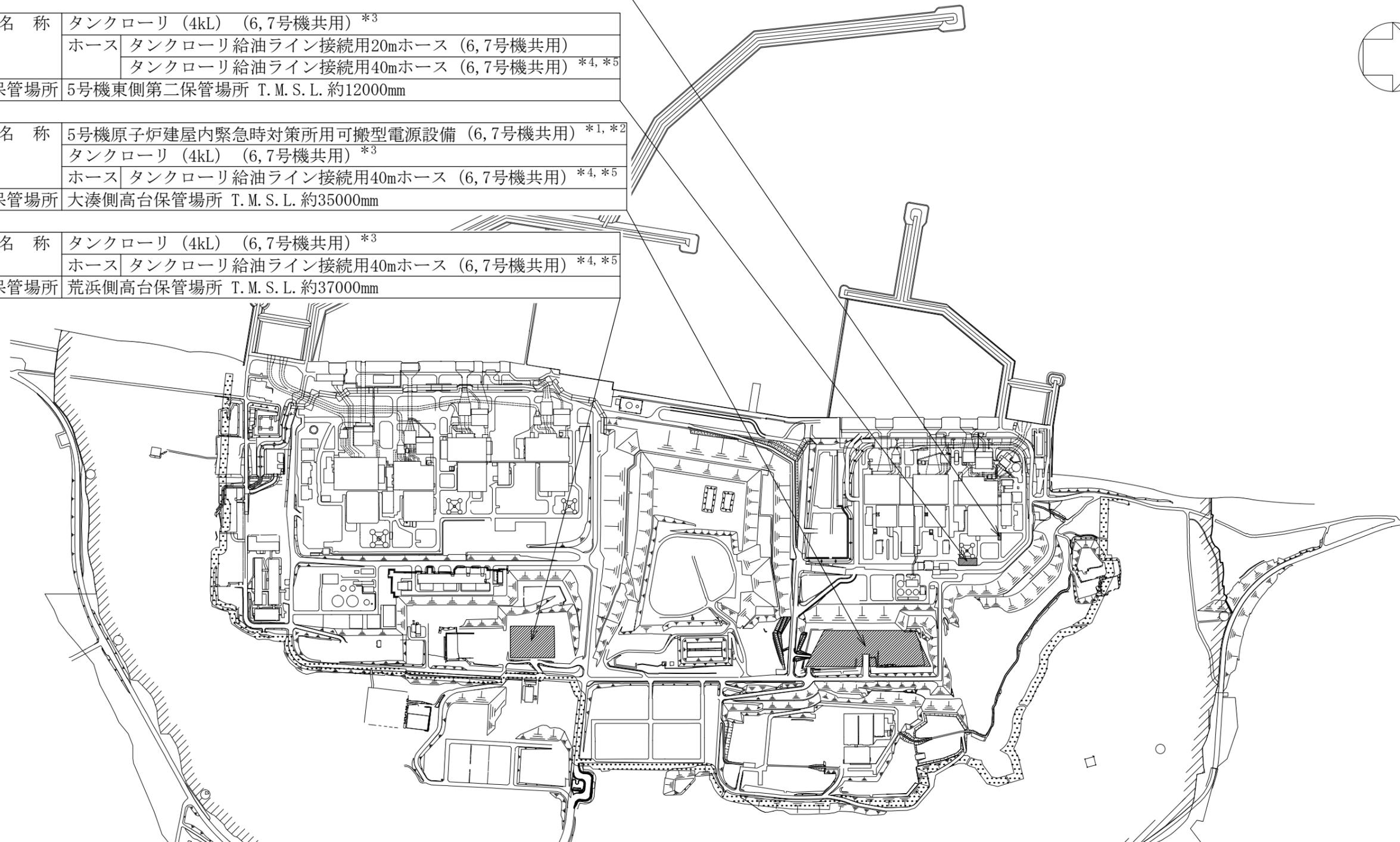
工事計画認可申請	第9-1-1-3-1-1図
柏崎刈羽原子力発電所第7号機	
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置 (緊急時対策所代替電源設備) に係る機器の配置を明示した図面 (その1)
東京電力ホールディングス株式会社	

名称	5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備 (6,7号機共用) *1,*2
保管場所	5号機東側保管場所 T.M.S.L.約12000mm

名称	タンクローリ (4kL) (6,7号機共用) *3
ホース	タンクローリ給油ライン接続用20mホース (6,7号機共用)
	タンクローリ給油ライン接続用40mホース (6,7号機共用) *4,*5
保管場所	5号機東側第二保管場所 T.M.S.L.約12000mm

名称	5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備 (6,7号機共用) *1,*2
	タンクローリ (4kL) (6,7号機共用) *3
ホース	タンクローリ給油ライン接続用40mホース (6,7号機共用) *4,*5
保管場所	大湊側高台保管場所 T.M.S.L.約35000mm

名称	タンクローリ (4kL) (6,7号機共用) *3
ホース	タンクローリ給油ライン接続用40mホース (6,7号機共用) *4,*5
保管場所	荒浜側高台保管場所 T.M.S.L.約37000mm



注記*1 : 下記設備は、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備(6,7号機共用)の附属機器である。
 附属機器は「機器本体」と同一取付箇所である。
 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関 (6,7号機共用) , 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用調速装置 (6,7号機共用) , 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用非常調速装置 (6,7号機共用) , 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用機関付冷却水ポンプ (6,7号機共用) , 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用燃料タンク (6,7号機共用) , 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用励磁装置 (6,7号機共用) , 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用保護継電装置 (6,7号機共用) 。

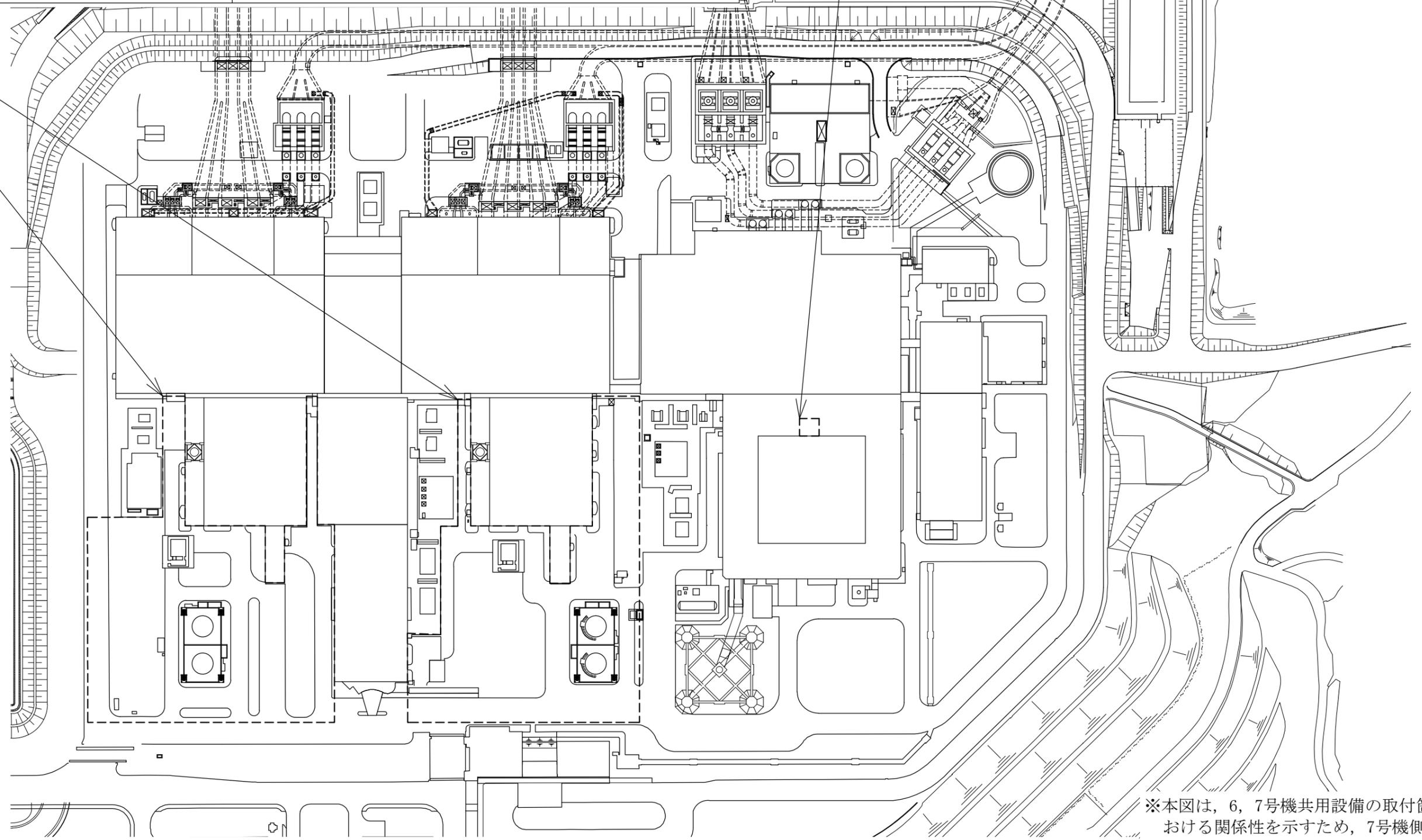
*2 : 5号機東側保管場所及び大湊側高台保管場所のうち5号機東側保管場所に2個, 大湊側高台保管場所に予備3個を保管する。
 *3 : 予備を含めた4個を荒浜側高台保管場所, 大湊側高台保管場所及び5号機東側第二保管場所のうち荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所にそれぞれ1個, 5号機東側第二保管場所に2個を保管する。
 *4 : タンクローリ給油ライン接続用40mホース (6,7号機共用) については, タンクローリ (4kL) (6,7号機共用) と同一箇所に取付。
 *5 : 予備を含めた4本を荒浜側高台保管場所, 大湊側高台保管場所及び5号機東側第二保管場所のうち荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所にそれぞれ1本ずつ保管するとともに, 5号機東側第二保管場所に2本保管する。

■:保管場所

工事計画認可申請	第9-1-1-3-1-2図
柏崎刈羽原子力発電所第7号機	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置 (緊急時対策所代替電源設備) に係る機器の配置を明示した図面 (その2)
東京電力ホールディングス株式会社	

名称	5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備 (6,7号機共用) *1
取付箇所	5号機原子炉建屋3階 T.M.S.L. 27800mm 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用受電盤

名称	タンクローリ (4kL) (6,7号機共用) *2	ホース	タンクローリ給油ライン接続用20mホース (6,7号機共用)
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約12000mm D/G軽油タンク設置エリア	屋外	T.M.S.L. 約12000mm D/G軽油タンク設置エリア～タンクローリ (4kL)



※本図は、6,7号機共用設備の取付箇所における関係性を示すため、7号機側への取付箇所を示す。

≡ 注記*1 : 下記設備は、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備(6,7号機共用)の附属機器である。

附属機器は「機器本体」と同一取付箇所である。

5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関 (6,7号機共用), 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用調速装置 (6,7号機共用), 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用非常調速装置 (6,7号機共用), 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用機関付冷却水ポンプ (6,7号機共用), 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用燃料タンク (6,7号機共用), 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用励磁装置 (6,7号機共用), 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用保護継電装置 (6,7号機共用)。

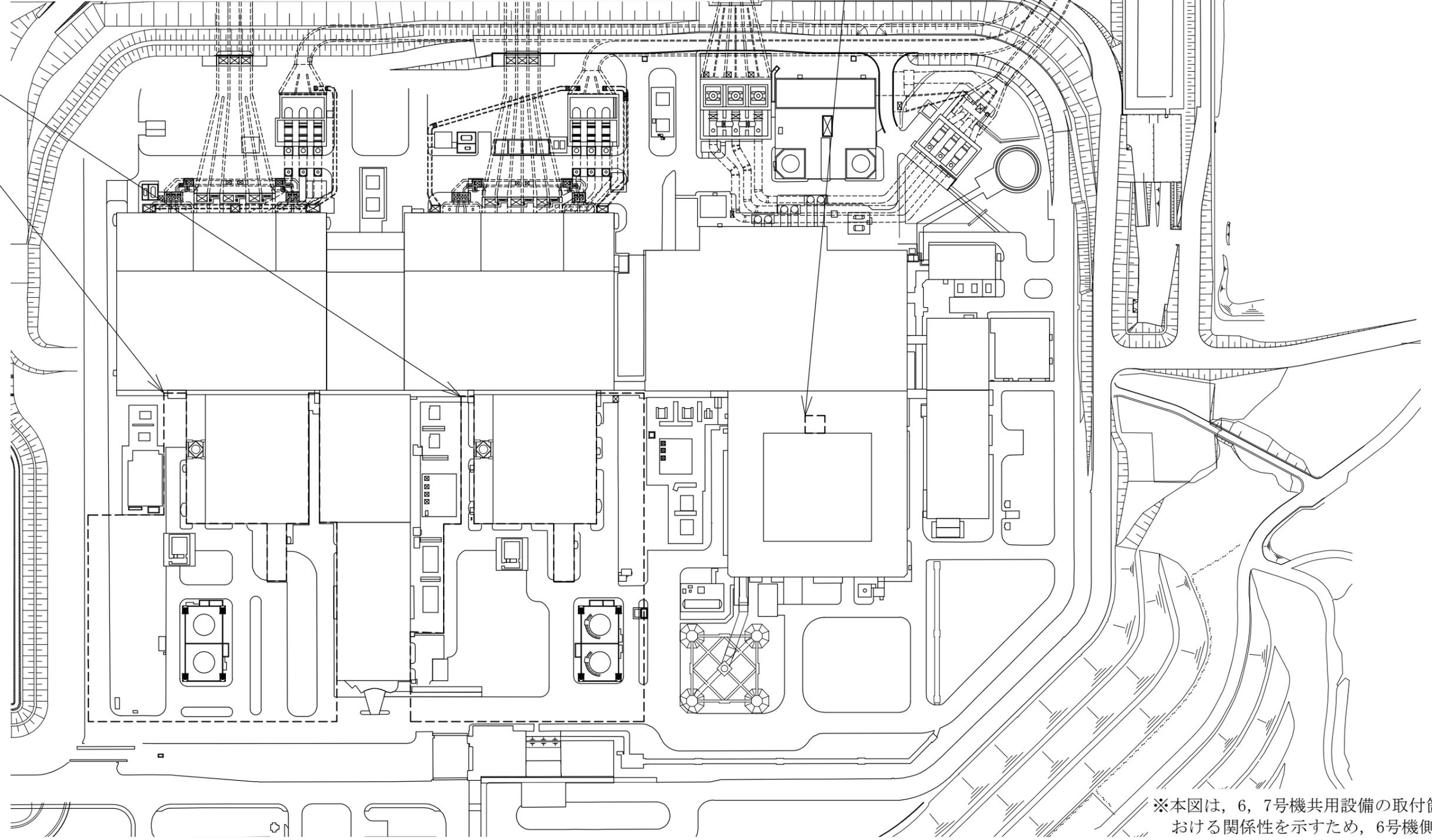
*2 : タンクローリ給油ライン接続用40mホース (6,7号機共用) については、タンクローリ (4kL) (6,7号機共用) と同一箇所に取付。

[---] : 取付箇所

工事計画認可申請	第9-1-1-3-1-3図
柏崎刈羽原子力発電所第7号機	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置 (緊急時対策所代替電源設備) に係る機器の配置を明示した図面 (その3)
東京電力ホールディングス株式会社	

名称	5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備 (6,7号機共用) *1
取付箇所	5号機原子炉建屋3階 T.M.S.L. 27800mm 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用受電盤

名称	タンクローリ (4kL) (6,7号機共用) *2	ホース	タンクローリ給油ライン接続用20mホース (6,7号機共用)
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約12000mm D/G軽油タンク設置エリア	屋外	T.M.S.L. 約12000mm D/G軽油タンク設置エリア～タンクローリ (4kL)



※本図は、6,7号機共用設備の取付箇所における関係性を示すため、6号機側への取付箇所を示す。

≡ 注記*1 : 下記設備は、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備(6,7号機共用)の附属機器である。

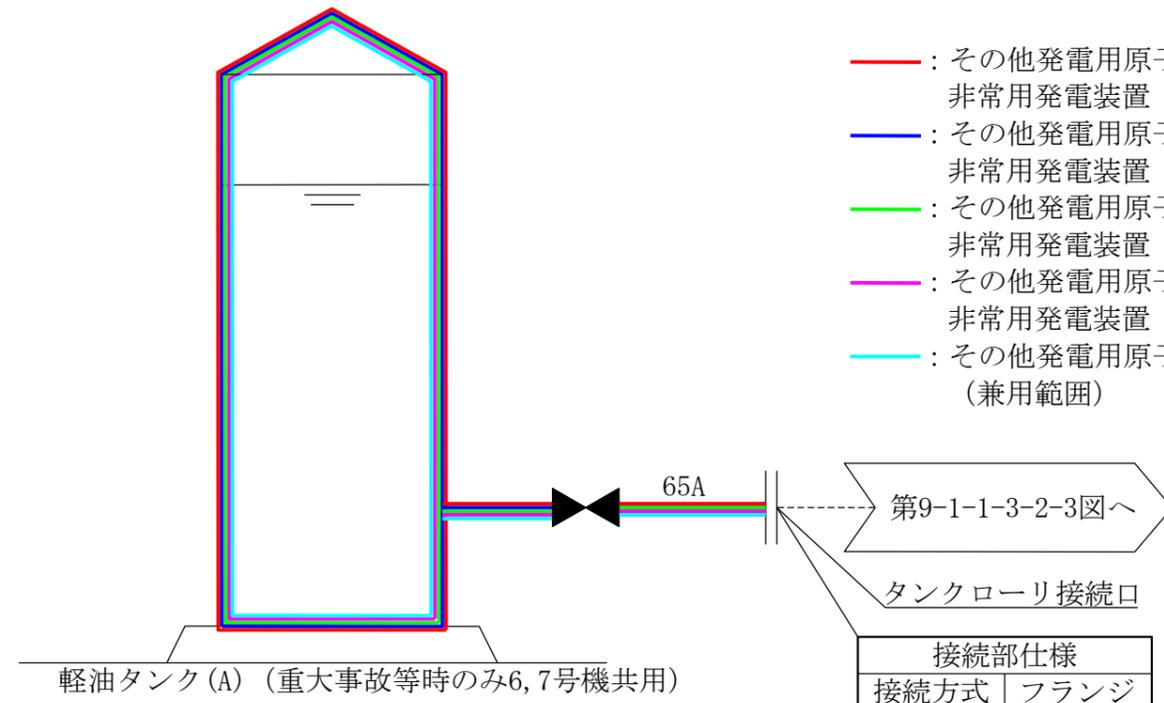
附属機器は「機器本体」と同一取付箇所である。

5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関 (6,7号機共用), 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用調速装置 (6,7号機共用), 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用非常調速装置 (6,7号機共用), 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用機関付冷却水ポンプ (6,7号機共用), 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用燃料タンク (6,7号機共用), 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用励磁装置 (6,7号機共用), 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用保護継電装置 (6,7号機共用)。

*2 : タンクローリ給油ライン接続用40mホース (6,7号機共用) については、タンクローリ (4kL) (6,7号機共用) と同一箇所に取付。

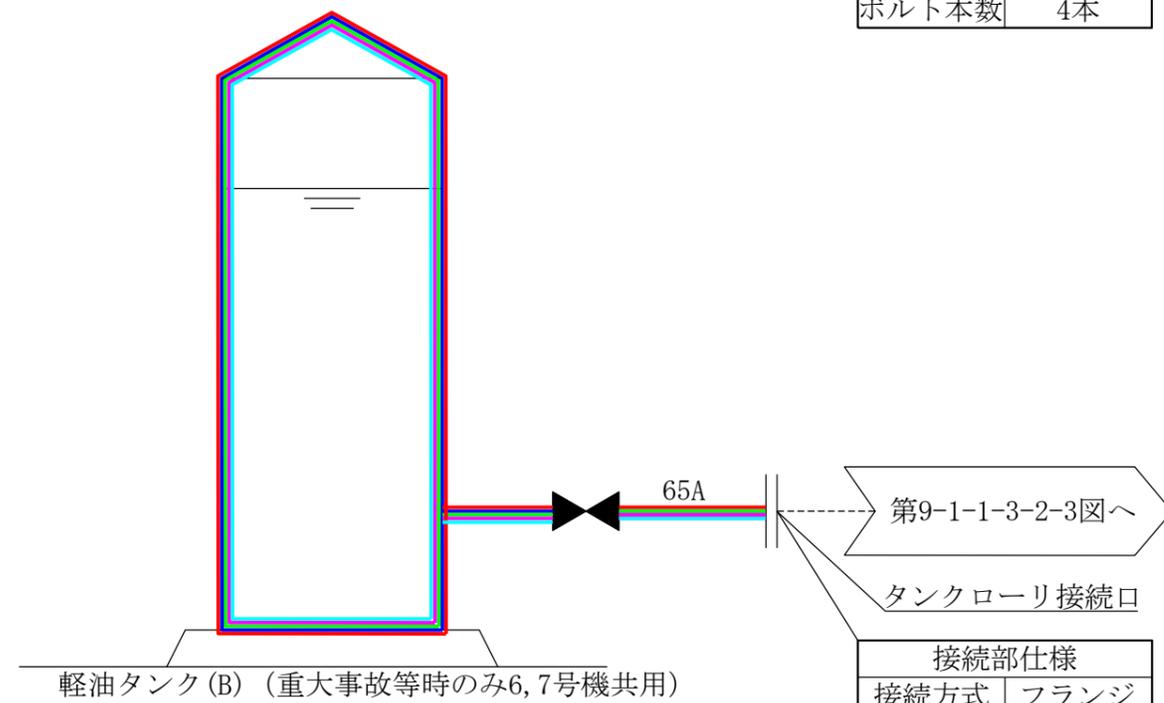
[- - - -] : 取付箇所

工事計画認可申請	第9-1-1-3-1-4図
柏崎刈羽原子力発電所第7号機	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置 (緊急時対策所代替電源設備) に係る機器の配置を明示した図面 (その4)
東京電力ホールディングス株式会社	



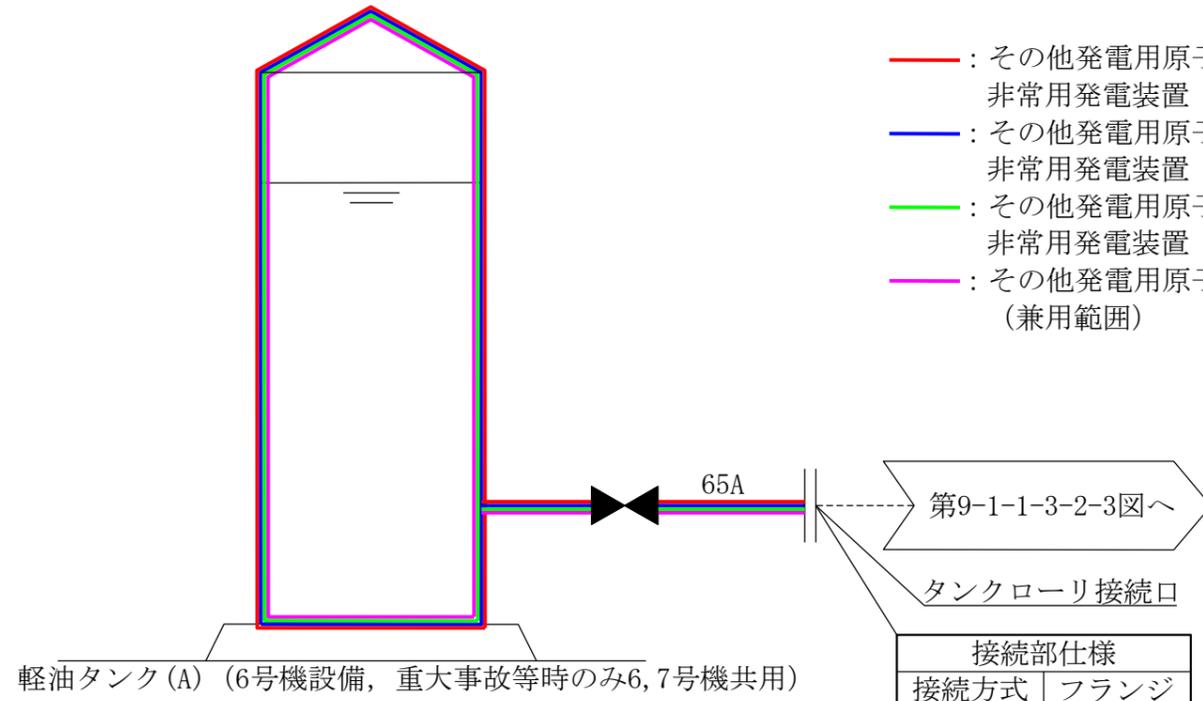
- : その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置 (緊急時対策所代替電源設備) (当該設備の申請範囲)
- : その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置 (非常用ディーゼル発電設備) (兼用範囲)
- : その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置 (代替交流電源設備) (兼用範囲)
- : その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置 (監視測定設備用電源設備) (兼用範囲)
- : その他発電用原子炉の附属施設のうち補機駆動用燃料設備 (兼用範囲)

接続部仕様	
接続方式	フランジ
呼び径	65A
ボルト本数	4本

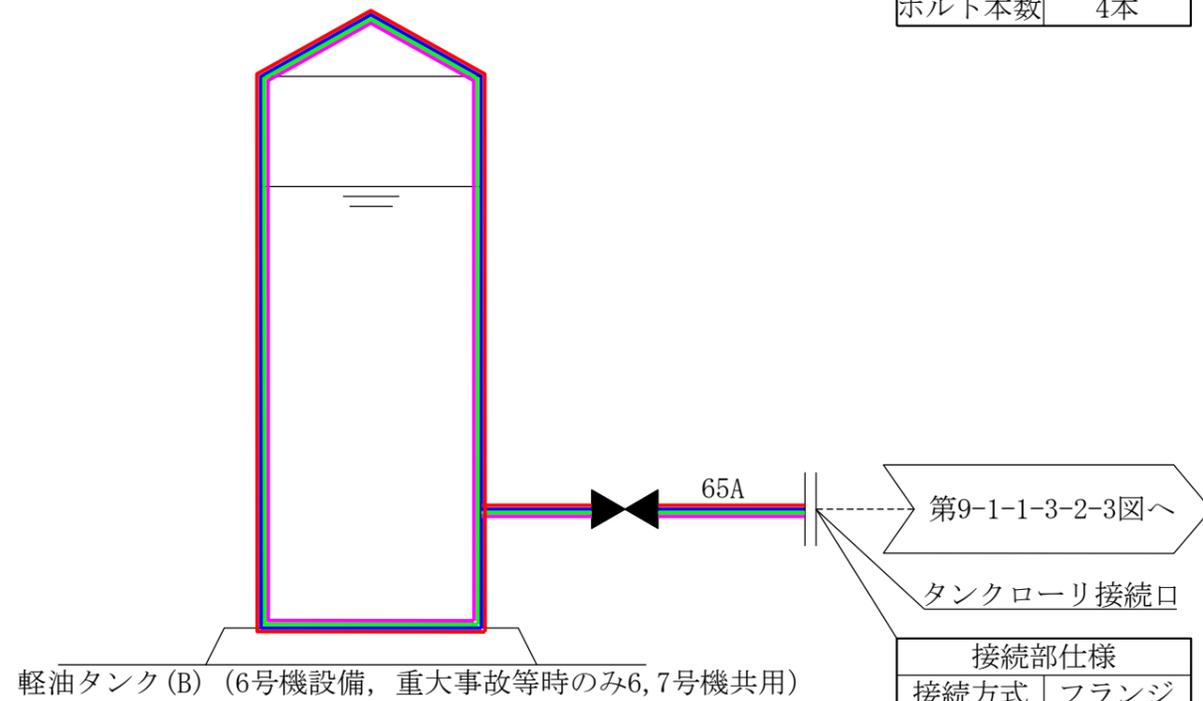


接続部仕様	
接続方式	フランジ
呼び径	65A
ボルト本数	4本

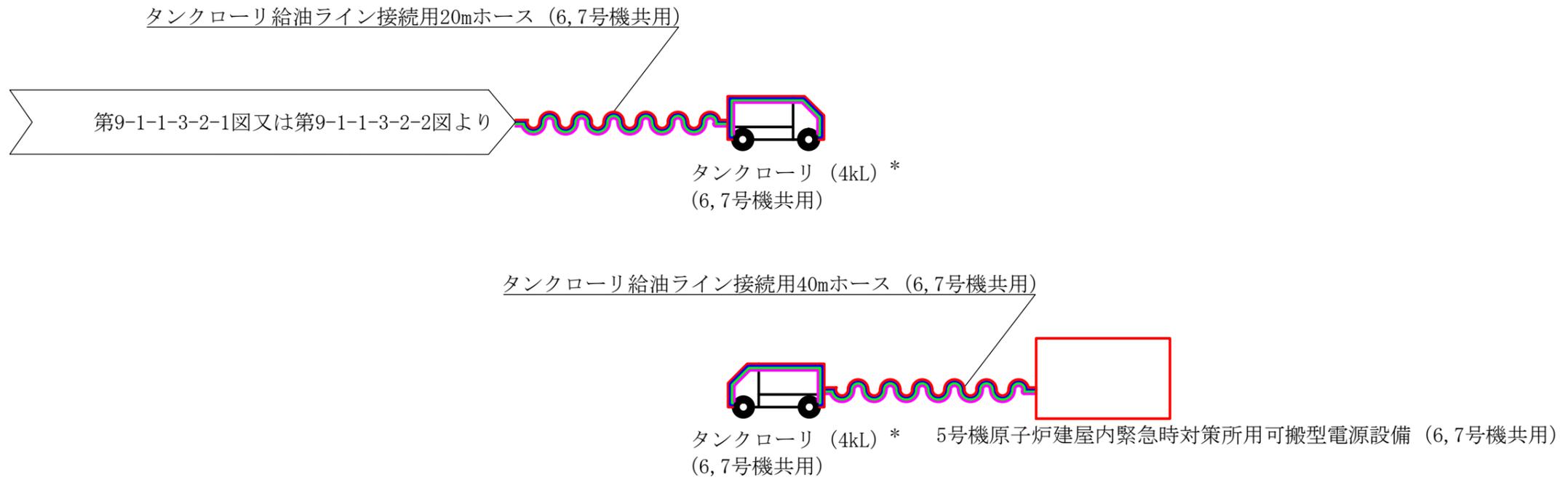
工事計画認可申請	第9-1-1-3-2-1図
柏崎刈羽原子力発電所第7号機	
名	その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置 (緊急時対策所代替電源設備) の系統図 (その1) (軽油タンク) (重大事故等対処設備)
称	
東京電力ホールディングス株式会社	



- : その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置 (緊急時対策所代替電源設備) (当該設備の申請範囲)
- : その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置 (代替交流電源設備) (兼用範囲)
- : その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置 (監視測定設備用電源設備) (兼用範囲)
- : その他発電用原子炉の附属施設のうち補機駆動用燃料設備 (兼用範囲)



工事計画認可申請	第9-1-1-3-2-2図
柏崎刈羽原子力発電所第7号機	
名	その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置 (緊急時対策所代替電源設備) の系統図 (その2) (軽油タンク) (重大事故等対処設備)
称	
東京電力ホールディングス株式会社	



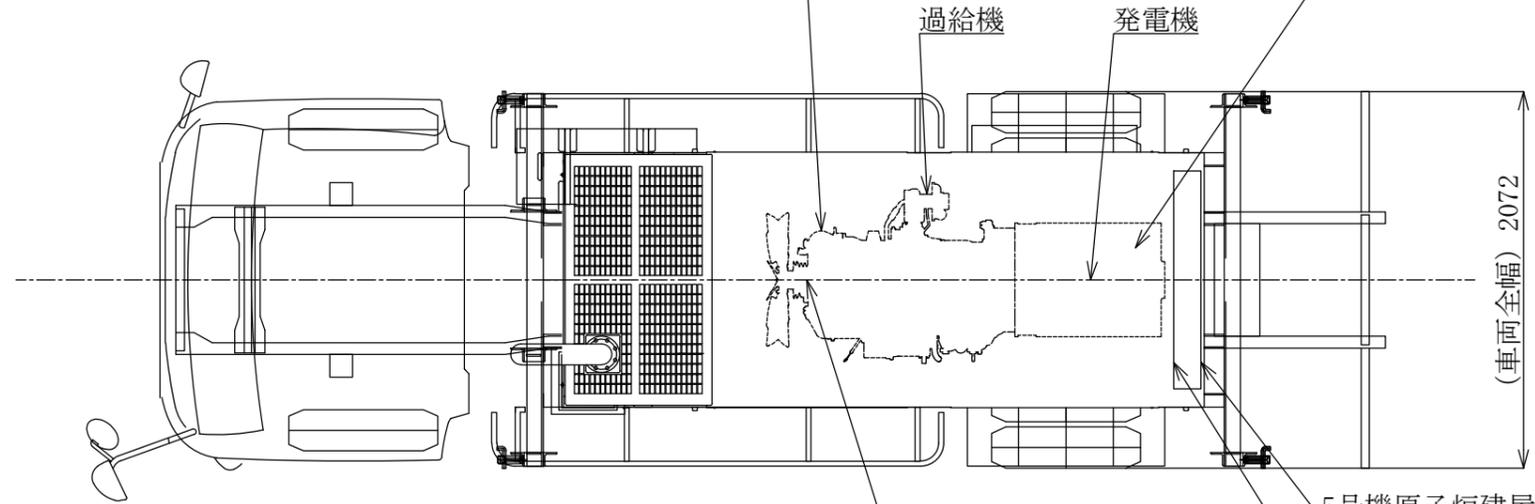
- 👉: その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置 (緊急時対策所代替電源設備) (当該設備の申請範囲)
- 👉: その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置 (代替交流電源設備) (兼用範囲)
- 👉: その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置 (監視測定設備用電源設備) (兼用範囲)
- 👉: その他発電用原子炉の附属施設のうち補機駆動用燃料設備 (兼用範囲)

注記* : タンクローリ (4kL) (6,7号機共用) について, 同一の機器を示す。

工事計画認可申請	第9-1-1-3-2-3図
柏崎刈羽原子力発電所第7号機	
名	その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置 (緊急時対策所代替電源設備) の系統図 (その称3) (緊急安全対策資機材系) (重大事故等対処設備)
称	
東京電力ホールディングス株式会社	

5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関 (6,7号機共用)

5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用励磁装置 (6,7号機共用)

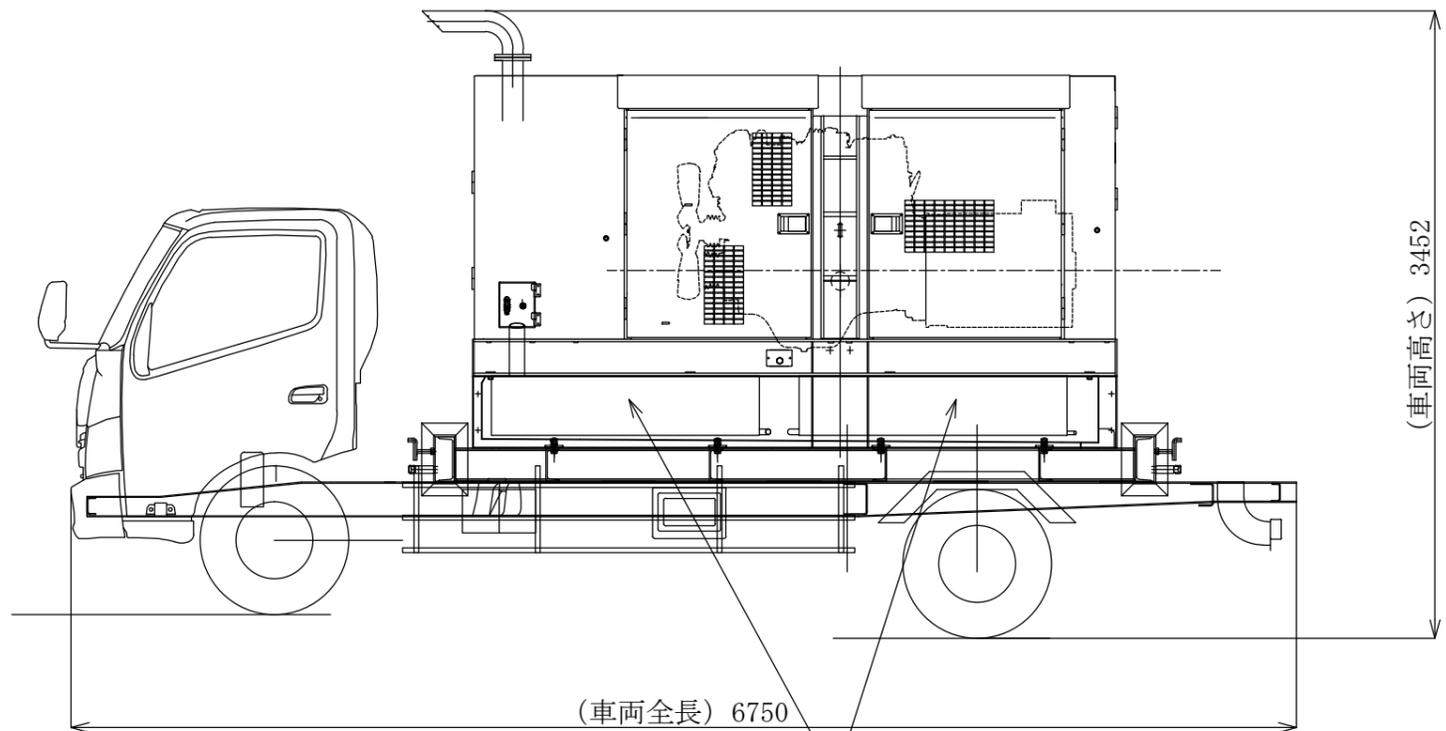


5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用保護継電装置 (6,7号機共用)

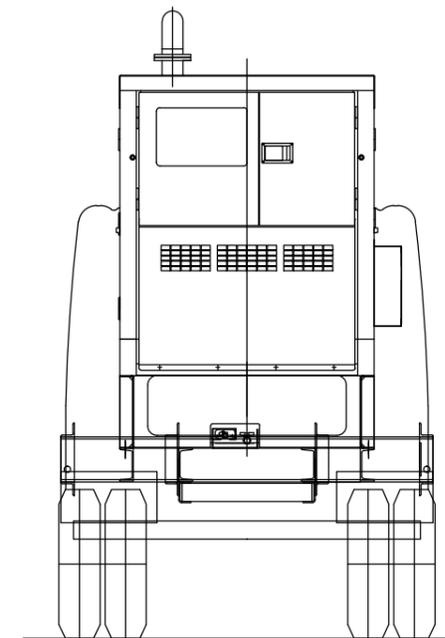
5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用调速装置 (6,7号機共用)

5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用非常调速装置 (6,7号機共用)

5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用機関付冷却水ポンプ (6,7号機共用)



5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用燃料タンク (6,7号機共用)



注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。
 ※6,7号機共用

工事計画認可申請	第9-1-1-3-3-1図
柏崎刈羽原子力発電所第7号機	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置(緊急時対策所代替電源設備)の構造図 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備(その1)
東京電力ホールディングス株式会社	

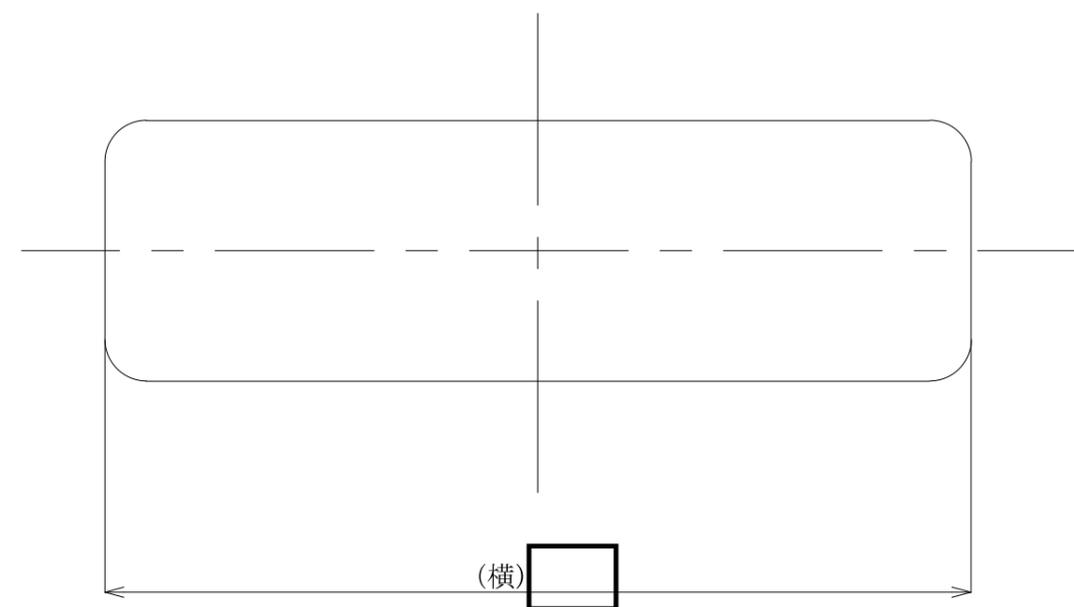
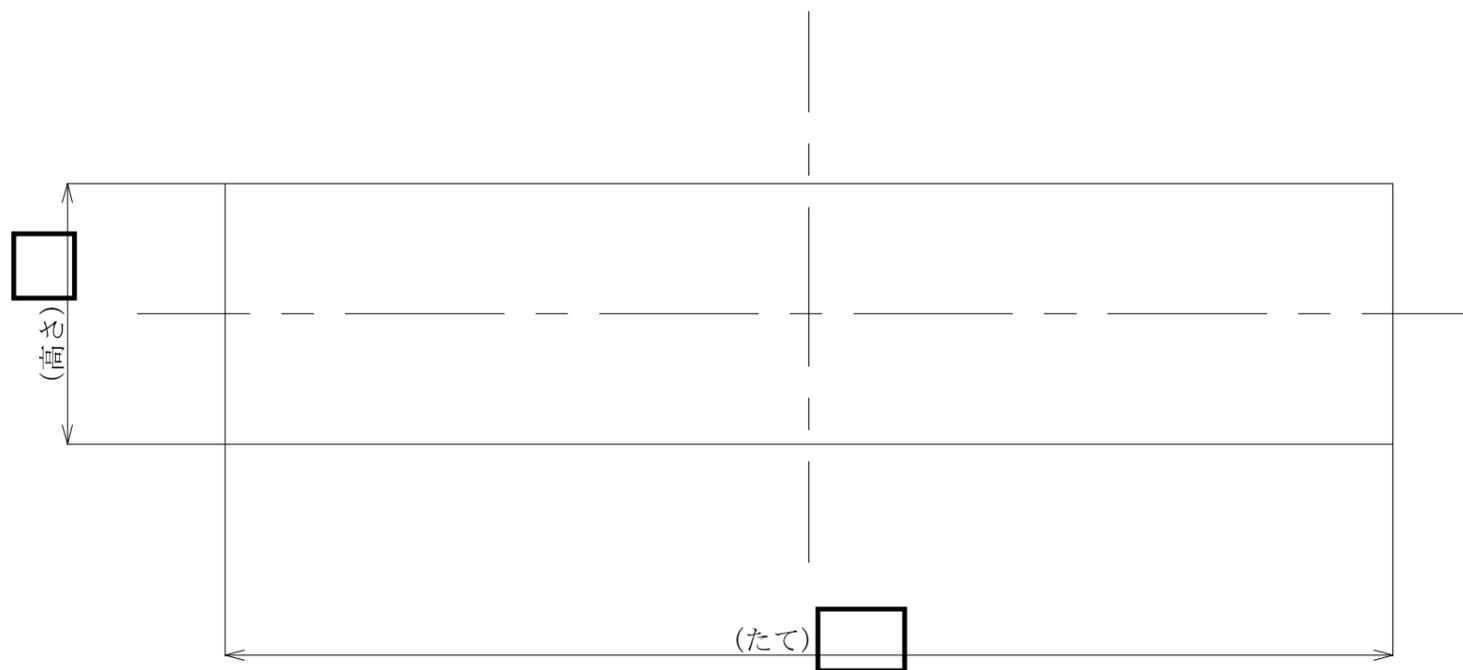
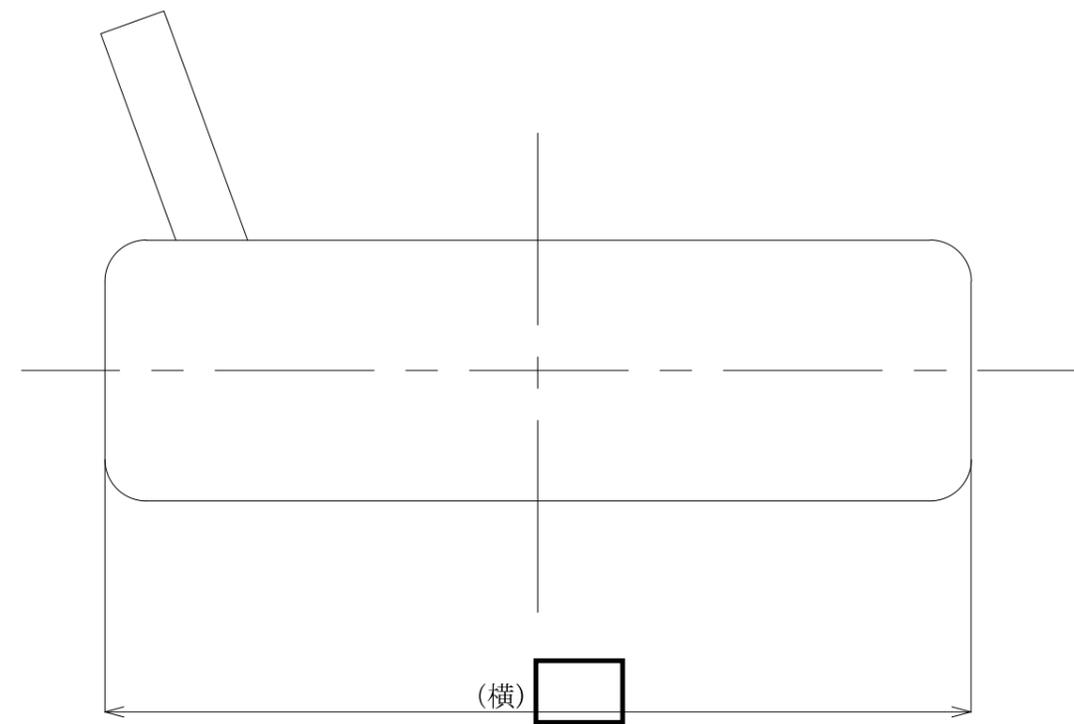
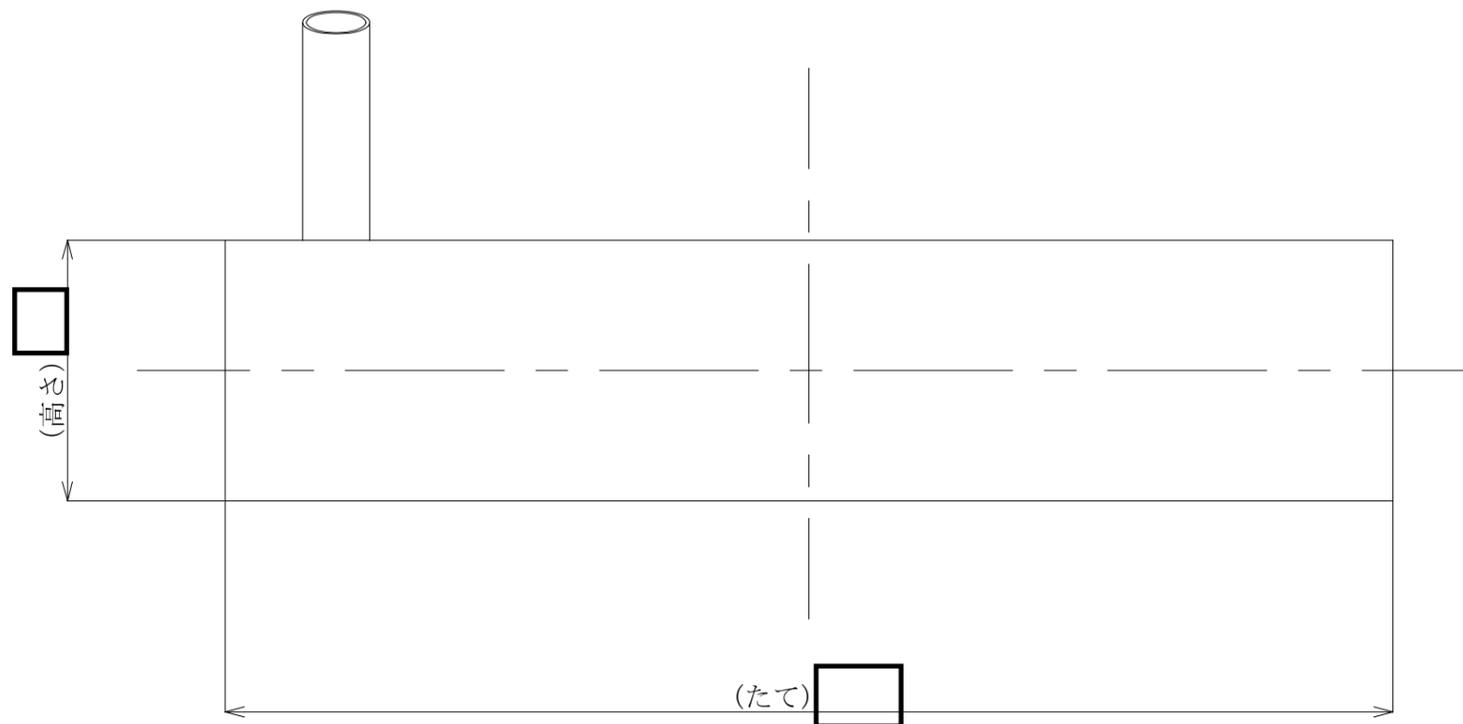
第 9-1-1-3-3-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（緊急時対策所代替電源設備）の構造図 5 号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備（その 1） 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

5 号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備（6, 7 号機共用）

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
車両全長	6750	—	概略寸法のため規定しない
車両全幅	2072	—	同上
車両高さ	3452	—	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値



注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

※6, 7号機共用

工事計画認可申請	第9-1-1-3-3-2図
柏崎刈羽原子力発電所第7号機	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置(緊急時対策所代替電源設備)の構造図 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用燃料タンク
東京電力ホールディングス株式会社	

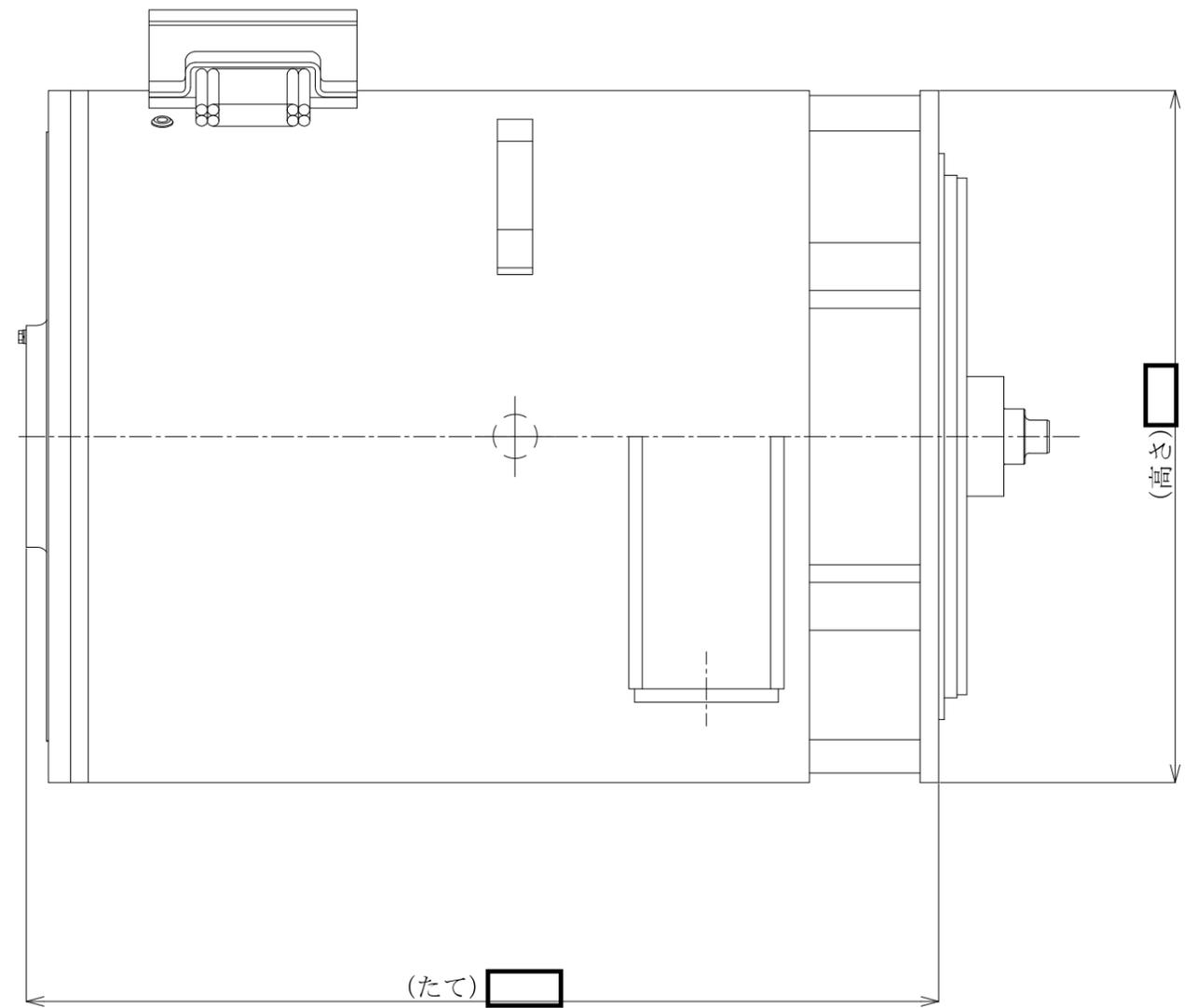
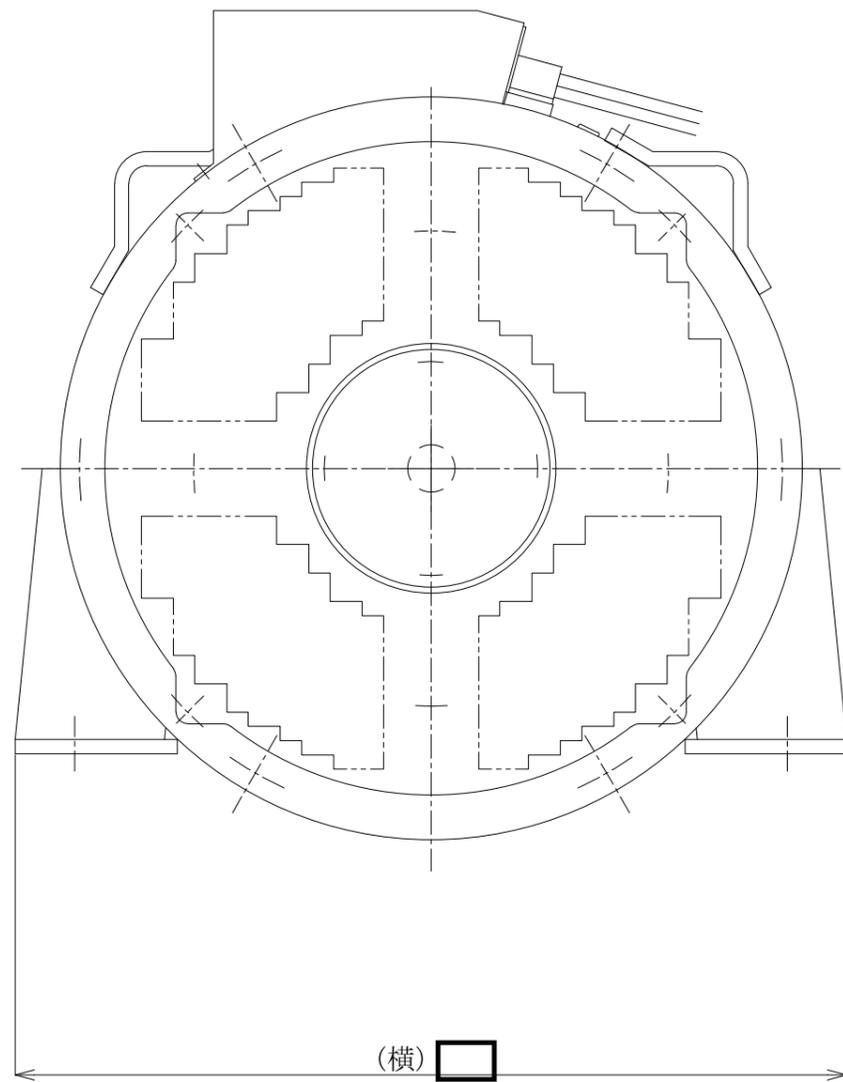
第 9-1-1-3-3-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（緊急時対策所代替電源設備）の構造図 5 号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用燃料タンク 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

5 号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用燃料タンク (6, 7 号機共用)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
た て	<input type="text"/>	±3mm	J I S B 0 4 0 5 による公差
横	<input type="text"/>	±3mm	同上
高 さ	<input type="text"/>	±2mm	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値



注1：寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

※6, 7号機共用

工事計画認可申請	第9-1-1-3-3-3図
柏崎刈羽原子力発電所第7号機	
名	その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置(緊急時対策所代替電源設備)の構造図 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備(その2)
称	東京電力ホールディングス株式会社

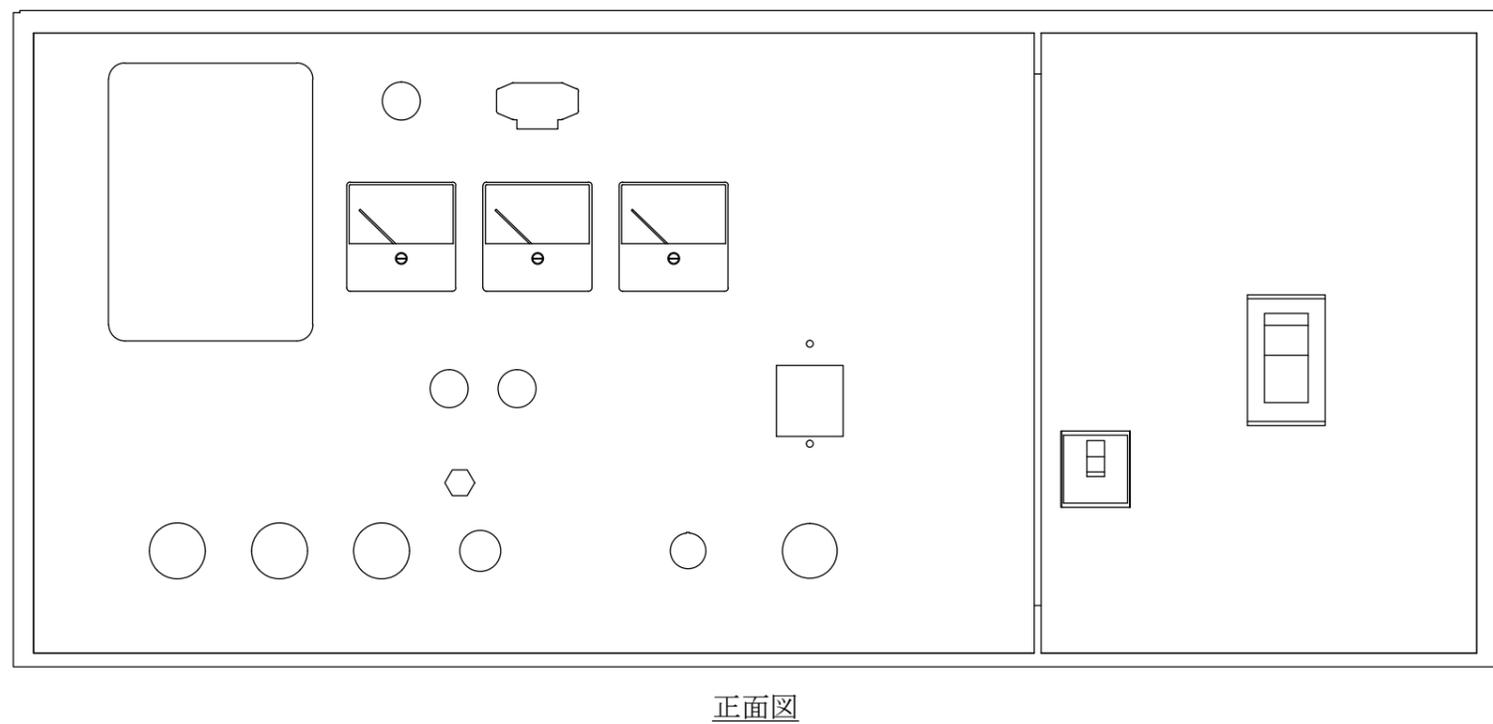
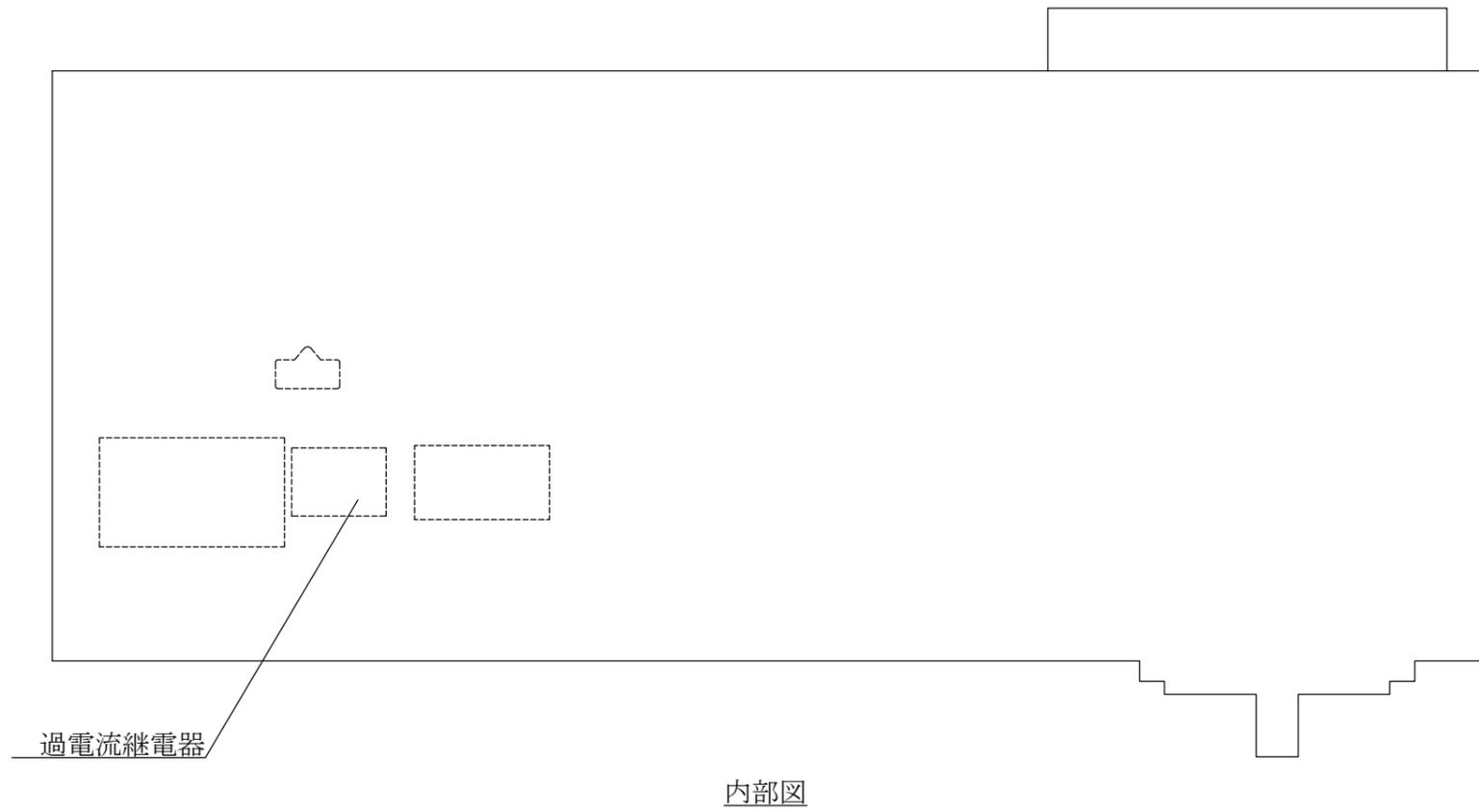
第 9-1-1-3-3-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（緊急時対策所代替電源設備）の構造図 5 号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備（その 2） 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

5 号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備（6, 7 号機共用）

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
た て	<input type="text"/>	±7mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	<input type="text"/>	±7mm	同上
高 さ	<input type="text"/>	±7mm	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値



※6, 7号機共用

工事計画認可申請	第9-1-1-3-3-4図
柏崎刈羽原子力発電所第7号機	
名	その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置(緊急時対策所代替電源設備)の構造図 5号機原子炉
称	建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用保護継電装置
東京電力ホールディングス株式会社	